

たむぎやま

地区防災訓練・田麦山復興祭

十月二十三日(日)

平成 23 年
11 月 20 日発行

新潟県

田麦山地区館

田麦山地区協議会
東日本大震災義援金三十五万七千円

宮城県石巻市立大川小学校へ贈呈

田麦山地区協議会長 大淵 公男

十一月九日(月)、宮城県石巻市の大川小学校に出向き、田麦山地区として義援金三十五万七千円を贈呈しました。協議会では、東日本大震災に対し、田麦山地区として何らかの支援(義援金、ボランティア等)をしようという話し合いをしました。私たちも中越大地震で全国の皆さんから沢山の支援をいただき、特に田麦山は小学校全館が避難場所となるなど、子どもたちは大変な中で、地区の人達や先生方と協力し震災に堪え一生懸命頑張りました。こうした中で、被災地の学校の復興に義援金を贈ろうと決め、贈呈先を大津波で大きな被害(校舎大破、児童・教職員計八十四人が死亡・不明)を蒙った大川小学校としました。

この日、協議会役員五名と丸山正次さん(中越大地震時、旧田麦山小学校長)計六名で、大川小学校(現在間借りしている飯野川小学校)を訪れ、柏葉校長に義援金を直接お渡ししました。

校長先生からは、「学校の復興に役立てさせていただきます。ありがとうございます。」とお礼の言葉をいただき「教職員一丸となって子どもたちのために頑張ります。」と力強く話されました。学校の再建については、これから市の復興計画で決まるということでありました。

学校の間借りということですが、一日も早く子どもたちが元の学校生活に戻れること願い、学校を後にしました。そして、現地、大川小学校に出向き、校門の前に備えられた祭壇に献花し、亡くなられた児童・生徒のご冥福を皆でお祈りして参りました。

今回の大川小学校義援金贈呈に当たり、ご報告申し上げますとともに、義援金を中越大地震で地区に配分された義援金積立(四百六十六万五千二百九十八円)の一部を活用させていただき、一世帯三千円×百十九世帯分として贈らせていただきました。地区の皆さんのご協力に心からお礼申し上げます。有り難うございました。

被災地へ田麦山産新米と野菜を届ける

ファーム田麦山代表 涌井清嗣

田麦山の多くの皆さんからご協力いただき新米コシヒカリ、サツマイモ、えのき茸、大根をはじめとする沢山の野菜を持って山元町に届けてきました。

今回は仮設住宅を回り直接手渡すことができ「中越地震震源地の長岡市田麦山から」など声をかけ、また山元町の皆さんからは「夏のカボチャがおいしかった、ありがとうございます」など感謝の言葉を頂きました。

昼食交流では津波の話や私達の支援に涙ぐむ場面もありました。

少し笑顔の戻った皆さんに見送られ、実施出来た達成感と協力いただいた地域の皆様に感謝の一日でした。



音楽会



学習発表会

佐藤 七海（大形 与兵衛）

わたしたちは総合学習で学んだことを発表しました。がんばったことが二つあります。

一つ目は、セリフです。わたしのセリフは最後の場面でした。がんばったことは大きな声でゆっくり言う事です。なぜかという大きな声で言わないと後ろの人に聞こえないし早口で言うとうまく聞きとれないからです。

二つ目は、リコーダーです。リコーダーをふく人は三人でわたしは、ふく人とかけ声をやりました。本番はまちがえないか不安だったけどうまくできたのでよかったです。

最後に、来年の学習発表会もがんばりたいです。

『最後の合唱コンクール』

内山 真衣（前原 内山）

今年は、私たち三年生にとって最後の合唱コンクールなので、みんなで「最高の合唱をしたい」と思っていました。ですが学年が上がれば曲のレベルも上がり、最初は音をとるのが精一杯でした。男女で合わせても合わず「大丈夫かな」と何度も思いました。しかしパートリーダーや指揮者が中心となってみんなで意見を言い合い、合唱はどんどん良くなって行きました。

当日はとても緊張しましたが、みんなが練習の成果を発揮し、最高の合唱になりました。その結果、最優秀賞・指揮者賞・伴奏者賞をとることができました。私は夏休みから伴奏の練習をしてきたので、伴奏者賞をもらえたことがとても嬉しかったです。

今回の合唱コンクールでクラスの仲がより深まったと思います。残りの中学校生活もみんなで楽しみたいです。



相川川堰堤に魚道完成

相川川魚道推進の会長 森山実

過去には相川川に魚がいつぱいいました。学校から帰ると夏はいつも川遊びで、昭和三五年以後石油採掘で汚染され採れずとも臭い、五〇年に入ると高さ五mの砂防堰堤ができ、魚はいなくなりました。

平成十五年、向山出身の森山勇さんと昔のように魚をもどそうと日本大学の安田陽一教授に相川川の調査をお願いしました。中越地震で川の様相が変わり一時中断しました。その後、いきいき田麦山、自然塾、大勢の人達と県や町にお願いして、新潟県内初の台形断面構造の生息物と環境に優しい魚道が完成しました。これからも周辺整備に努め、子供達に学習の場や田麦山の活性に繋がればと期待します。

短歌

星野 恒治

秋来ぬと新米が届きぬ越後の香り

幸福感が漂う中拝んでいただく

ふるさとの発展を一途に祈り絵う

熊野神社に建つ芳銘碑の孤独

へおくやみ

十月二十九日 水落 菊枝 さん 七十八歳

（大形 サヘイ）

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

ついこの間、稲刈りが終わったと思えば、初雪のたよりが聞こえるようになります。

さて、今年も残すところ一ヶ月です。師走が近づくのと公私とも忙しくなると思いますが、空気が乾燥し風邪をひきやすくなるこの時期です。体調には十分に注意し十二月を乗り切りましょう。